

岡山市外国人市民会議における審議

(1) 岡山市の魅力の発信

海外への情報発信

[現状]

岡山への旅行商品ができるよう、海外でプロモーションを行っている。

岡山県、周辺の市などと連携して観光客誘致を行っている。

[主な意見]

①市のホームページに出ていない情報でもフェイスブックで伝わり、岡山に観光に来た例がある。

②岡山固有の魅力がまだ情報発信されていない。(郭沫若、雪舟、点字ブロック、果物狩り、ワイン、食べ物など)

③発信した情報が届いていないのでは。

④国によって関心を持つ情報は違う。また、観光だけでなく食べ物の情報等も合わせて提供した方が興味が湧く。

[意見のまとめ]

外国人観光客へのおもてなし

[現状]

多言語のパンフレット、案内板の多言語化、指さしながら会話ができるシートの作成をしている。

無料の公衆無線LANスポットを整備している。

[主な意見]

①市内回遊には自転車が便利だが外国人観光客が自転車を利用しにくい。

②地域によって魅力は違うので、区別した方がよい。

③ももたろう観光センターの場所がわかりにくい。外国人専用のインフォメーションデスクがあってもよいのでは。

④行政よりも外国人観光客を直接受け入れる一般市民の人たちが、きちんとおもてなしができる大人の町になるとよい。

[意見のまとめ]

(2) 教育支援の充実(就学後)

子どもへの支援

[現状]

日本語が十分でない児童生徒のため日本語指導支援員を派遣している。

国際理解や国際協力等多文化を理解することが重視されている。

学校内で言葉や文化の違いの問題で困難を抱え、不安を感じている児童生徒がいる。

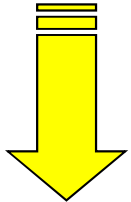


[主な意見]

①緊急時には言語指導支援を電話でできる体制を作る。

②子どもの能力は高く、最初は日本語がわからなくてもすぐ覚えていく。だが、できるだけ教師の声掛けは必要。

③在学している児童生徒の国について他の生徒も学ぶ機会があるとよい。



[意見のまとめ]

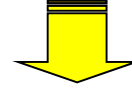
保護者への支援

[現状]

日本の学校について知ってもらうために、パンフレットを作成している。また、学校では入学説明会や入学に必要な物品の販売も行っている。

参観日、運動会、学習発表会等、子どもたちの様子を見たり聞いたりする機会がある。

学校で配られる書類の日本語がわからない保護者がいる。



[主な意見]

①日本の学校生活を知るための情報については多言語化してほしい。また、日本の学校について外国人に対する説明会やチラシの配布が一年に1回ほしい。

②子どもは学校で友達ができるが、外国人の保護者は孤立することがある。

③たくさんの書類をもらう。どれが重要なかわからないので、必要なもののみ渡してほしい。

④保護者と学校の信頼関係がなくなっているように感じる。



[意見のまとめ]

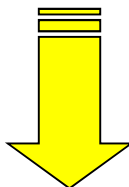
(3) 外国人市民の地域社会への参加促進

げんじょう [現状]

ちょうないかい ぼうさい ちいきぎょうじ めん だいじ さんかそくしん やくわり にな
町内会は防災、地域行事などの面で大事なコミュニティとしての役割を担っている。

こ きょういく ほごしや がっこう きょうりく にんいだんたい おお ひと かつどう
PTAは子どもの教育をよくするために保護者が学校に協力する任意団体であり、多くの人が活動している。

こうみんかん つど まな かつどう かつやく ば なかま つく
公民館は、集い、学び、活動、活躍する場であり、仲間を作ることができる。

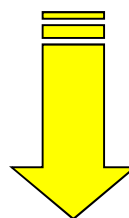


おも いけん [主な意見]

ちょうないかい こうみんかん わ がいこくじん おお
町内会、PTA、公民館についてどんなもの分からない外国人が多い。

やくいん ことば もんだい さんか
PTAの役員をしたいが言葉の問題があり参加できない。

こうみんかん こ む ふ
公民館は子ども向けのイベントを増やすとよい。



いけん [意見のまとめ]

--